

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県唐津市海岸通7182番地233

団 体 名 特定非営利活動法人MATSRA

代表者職・氏名 理事長 川寄和正

電 話 番 号 0955-72-1458

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人MATSRA
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀県は、佐賀県再生可能エネルギー利用等促進条例に基づき、2021年に佐賀県再生可能エネルギー利用等基本計画を策定し、再生可能エネルギーの普及拡大を目指している。また唐津市は、2023年3月、「ゼロカーボンシテイ宣言」を表明し、再生可能エネルギーの活用、脱炭素への関心を持ってもらう施策を展開。このような佐賀県の地域特性に加え、国の脱炭素化政策やウクライナ情勢により、国内でエネルギーへの関心が高まっている。このような背景を捉え、事業を通じて、一般へ脱炭素化への理解促進と再生可能エネルギーの普及拡大の機運を醸成する。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようなにつながったのか

再生可能エネルギーの普及は、国内でエネルギーを循環させることで身近な電気料金の価格低減にも寄与する。官・民が戦略的に再生可能エネルギーの普及を展開することで、県民のエネルギーへの関心や意識を持つ機会となる。そのような再生可能エネルギーの情報を分かりやすく発信することで県民のみならず国民の便益につながったと考える。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

エネルギーは佐賀県に限る話でなく、生きるためのライフラインとして誰もが享受するもので、都道府県毎に政策は異なる中、佐賀県、唐津市は、国と同様に政策展開している。MATSRAのホームページを通じて、全国的に注目の集まる洋上風力発電や再生可能エネルギーに関する官・民及び当団体の取組みを一般に分かりやすい表現で情報発信した結果、佐賀県内外からアクセスがあり、佐賀県や唐津市、当団体の取組みを効果的にPRすることが出来た。エネルギーの現状や取組みを知ることによって節電や脱炭素の関心をつくることが出来た。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		610,963
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	324,185
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	306,900
	前年度控除額(県事務経費)還付分	17,285
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	286,778

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		610,963
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	452,100
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	158,863
	返礼品等の調達に係る費用	75,384
	返礼品等の送付に係る費用	28,600
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	54,879

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://matsra.jp/>